TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

王が来られたⅡ　忠実なしもべと悪いしもべ

マタイの福音書 24 章 45 節ー51 節

2023 年 5 月 27 日&28 日
余沢 武　牧師

I.　初めに

こんにちは。　今日は、TBC 家族集会の週末、つまり予算案と決算報告書を承認する週末です。　TBC メンバーの方でまだ投票していない方は、今から数分間、主を賛美する歌を歌うので、どうぞその間に投票をしてください。

お手元の投票用紙を使って投票ができます。お名前を記入して、二項目にチェックを入れ、献金を集めるときに、献金用のカゴの中に入れてください。鉛筆や投票用紙がない方は、手を挙げてくだされば、案内係がお持ちします。また、オンラインからも投票できます。やり方をご説明します。

① TBCメンバーの方は、このような E メールを受信しているはずです。
② E メールを開き、下にスクロールして「投票をする」をクリックしてください。
③ 必要事項を記入し、2 項目にチェックをして、「提出する」をクリックしてください。(締切は夜 12 時なので、**5 月 28 日**の夜にオンラインで参加している方も、投票をお願いします。)
④ 既に投票された方とメンバーでない方は、投票している間に、賛美を一緒に歌いましょう。

イエス様はご自身のミニストリーの最後の週に、弟子たちにこれから起こる出来事について準備するように念を押されました。

① エルサレムの神殿が破壊されると言われ、弟子たちにいつ逃げるべきかを教えられました。
② 最後の審判のためにイエス様が戻るのは、予想もしない日と時になると警告されました。どのように備えればよいのでしょうか？今日はその点を中心に見ていきます。
その前にまず祈りましょう。

Ⅱ　忠実なしもべと悪いしもべ

(1)　忠実なしもべ

マタイ 24 章 45 節から 47 節を見てみましょう。

45 「主人から、時に応じて食べ物を与えるようにと、家の使用人たちを任された忠実で賢い僕は、一体誰であろうか。46　主人が帰って来たとき、そのように働いているのを見られる僕は幸いである。47　よく言っておくが、主人は彼に全財産を任せるに違いない。

イエス様の再臨をどのような心構えで待つべきかを教えるために、イエス様は、自分自身を家の主人に、私たちをその他の使用人たちを任されたしもべの長、つまり管理者に例えました。

イエス様の時代の裕福な家では、仕事は、主人が有している沢山の使用人がしていました。そのような家には、「使用人の長」または「管理者」がいて、自分たちも使用人でありながら、その他の使用人たち全員を監督していました。

① 管理者は、家を管理するために必要な物を全て委ねられています。
② 他の使用人たちの必要を世話し、使用人間の秩序を保つ役目を持っていました。

イエス様は、私たちを、イエス様の再臨を待つ間、神のしもべたちの世話をするために、神の資源を託された管理者に例えておられます。

① 管理者としての私たちが持っているものはすべて主人のものです。お金、財産、能力、霊的な賜物、聖書の知識、福音の知識、すべてです。
② 管理者として、私たちは主人の帰りを待つ間、神の民に仕えるためにそれらを用いなければなりません。

そのために、私たちは …

① 什分の一献金、献金、ビルディングファンドを捧げる。必要のある方々を援助する。
② スモールグループを主催し、導く。
③ 案内係、翻訳、パワーポイントの操作、サウンドの操作、メディア関連奉仕。
④ チルドレンミニストリー、学生ミニストリー、ワーシップ奉仕、ミートアンドコネクト奉仕, 福音への

イントロ、外国人収容所訪問ミニストリー、弁護士ミニストリー、キッズテーブル、等さまざまなフェローシップ、あらゆる種類のミニストリーで奉仕する。

ところで、最近、多くの方がさまざまなミニストリーで奉仕を始めているのを見て、とても嬉しく思います。案内係として奉仕する人、チルドレンズ・ミニストリー、メディア・ミニストリー、洗礼式ミニストリー、スモールグループ・ミニストリー、翻訳ミニストリー、ワーシップ・ミニストリー、新しいミニストリーを立ち上げる人などを目にしてきました。

皆さんは、自分の能力、賜物、時間、労力を使って、謙虚に他の人々に仕えています。私は皆さんの奉仕のおかげで、祝福されています。この教会は皆さんよって祝福されています。奉仕してくださるすべての方に「ありがとうございます」と言わせてください。

さて、奉仕について覚えておくべき 3 つのことをお話しします。

① 「奉仕」は特権です。私たちは罪人であり、神様の民に仕える資格はありません。私たちが謙遜にイエス様のもとに来たとき、私たちは赦され、私たち自身がまだ神によって変えて頂く必要があるのに、神の民に仕える特権が与えられるのです。

② 奉仕をするとき神様に私たちは依存するのです。私たちは、奉仕することによって何かを変える力を持っていません。何をするにしても、私たちの奉仕によって誰かの人生に霊的な影響を与えるためには、私たちを通して「神の力」が働く必要があります。

私たちは、奉仕をすること、案内すること、歌うこと、教えること、ミニストリーで何をするにしても、完全に神に依存しているのです。ですから、私たちは謙虚に神様に近づき、意味あることを行うことができない自分を告白する必要があるのです。そして、私たちが奉仕するときに、私たちを通して働いてくださるよう、神様にお願いするのです。

③ 私たちは、奉仕するときに困難に遭遇します。経済的な必要であれ、ミニストリーでの必要であれ、私たちが必要を感じたとき、神様は私たちに与えるように、また奉仕をするように促されるかもしれません。その時、私たちは喜んでそれを行うでしょうが、もっと多くの要求が来るかもしれません。沢山祈った末に、「だめ」と言わなければならない時が来るかもしれません。

そして人から批判されるかもしれません。心が引き裂かれることもあるかもしれません。でも、私たちは人に仕えているのではなく、最終的に神様に仕えているのだということを忘れないでください。私たちは管理者にすぎません。神の前に謙虚になり、神の導きを求め、神とともに歩み、私たちを批判する人々を愛し続けましょう。「誠実に奉仕する」とは、時にはそのような事でもあります。

イエス様はこう言っています。「主人が帰って来たとき、そのように働いているのを見られる僕は幸いである。」

私たちが忠実な管理者として生き、神からの資源と能力を使って神の民に仕えるなら、私たちは祝福されます。神は、私たちに神の国のすべての物の責任を任されるでしょう。

(2) 悪いしもべ

しかし、ここである警告があります「48 しかし、それが悪い僕で、主人は遅れると思い、49 仲間を叩き始め、酒飲みどもと一緒に食べたり飲んだりしているとする。50 もしそうなら、その僕の主人は、全く思いもよらない日と時に帰って来て、51 彼を厳しく罰し、偽善者たちと同じ目に遭わせる。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。」

イエス様は、私たちが再臨を待つ間に、私たちが直面しなければならない 3 つの戦いを明らかにしています。

① 主の再臨が「遅れている」と考えたくなり、自分に託された資源や能力を管理することに意味を見いだせず、他の神の民のために使うことをやめてしまうこと。
② もっと悪いこととして、他の奉仕者に厳しくすること。肉体的に殴ることはなくても、奉仕している人を言葉で批判してしまうことがあります。

③ 最も悪いこととして、自分に託された資源や能力をすべて自分のために使うこと、つまり酒飲みと一緒に食べたり飲んだりしてしまうことです。神の民に仕えるために使うのではなく、自分の喜び、自分の贅沢な生活、自分の名誉のために使ってしまうことがあります。

台湾で過ごした私の子ども時代、コカ・コーラは高価なごちそうと考えられていました。少なくとも我が家では。家でコカ・コーラが出るのは、お客さんが来たときだけでした。

お客さまにお出しした後、瓶に少し残っているときだけ、子どもの私たちがコカ・コーラを飲むことが許されました。そのような時は、兄と二人で慎重に分け、喜んで飲んでいました。

兄の子どもの頃の夢は、いつかコカ・コーラのトラックの運転手になることだったと聞いたことがあります。運転手になれば、好きなだけコーラを飲むことができると思ったのだそうです。

でも、皆さんお分かりのとおり、そんなことはありません。お店で働いているからといって、すべての商品が自分のものになるわけではありません。銀行で働いているからといって、すべてのお金が自分のものになるわけではありません。

神様が私たちにお金や能力、才能、財産、知識や賜物を預けたのだから、それらは実は私たちのものであり、私たちは自分のために好きなように使うことができるとクリスチャンが感じるのは危険だと、イエス様は警告しているのです。

イエス様が戻ってきたとき、もし私たちが神の民のためではなく、自分のために、託されたものを使っているのを見たら、イエス様は 51 節でこう言われます「彼を厳しく罰し、偽善者たちと同じ目に遭わせる。そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。」。

律法学者やパリサイ人と同じように、自分たちがどれほど罪深く、どれほど神の赦しと助けを必要としているか分からなかった「偽善者」として、私たちをご覧になるのです。

ここで質問です。イエス様が戻ってきたとき、イエス様はあなたや私の中に何を見るのでしょうか。忠実なしもべでしょうか？悪いしもべでしょうか？私たちは、神の財産の管理を任せてもらえるでしょうか？それとも、私たちを罰せられるのでしょうか？

先ほどお話ししたように、私たちには人の奉仕する資格はなく、仕えることで何か意味のあることが生まれるわけでもなく、仕えるときにはたびたび困難が伴います。それに、たとえ主が私たちに託したすべてのものであっても、本当に神の民に使っていると誰が言えるでしょう。

だから、私たち全員に救い主が必要なのです。私たちの罪の罰を受ける救い主が必要なのです。
つまり私たちは

① 罪を犯してつまずいてばかりの最低のクリスチャンであること。
② 自分のために尽くしてばかりいる、最低の召使いであること。

イエス様だけが、私たちの罪と不誠実を一身に背負い、十字架で死に、よみがえり、私たちに新しい命を与えてくださる「真の忠実なしもべ」なのです。 だからこそ、フィリップ・ライケン牧師はこのように言っています。

「キリスト教は、忠実なしもべのための宗教ではなく、不忠実なしもべのための福音である」。

そして、今度は私たちに、イエス様の助けを借りて、神様から託されたものを使って忠実に人々に仕える準備をするようにと呼びかけています。 そして 次のことを心にとめることが大切です。

① 私たちは、仕えるのに値しない罪人として謙虚に仕える。
② イエス様の力に望みを託す。
③ 主の恵みの中で困難に立ち向かう。

どうかイエス様が再臨されるとき、私たちが忠実であると認めてくださいますように。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2223jp

★クラス 210
スモールグループについて
6 月4日（日）13:00～17:00
参加条件: どなたでも

★クラス101
教会員になるためには
6 月24日（土）13:30～17:30
参加条件: どなたでも

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org